社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）　事後評価書

令和　3 年　9 月　1 日

計画の名称	安堵町における快適で活力ある暮らしの実現（第二次）		
計画の期間	平成28年度　～　令和2年度　（5年間）	交付対象	安堵町

計画の目標

安堵町において、公共用水域の水質改善並びに、公衆衛生の向上を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道処理人口普及率を９１％から９５％に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H28当初）	中間目標値（H30末）	最終目標値（R2末）	備考
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	91%	93%	95%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	170 百万円	A	170 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
安堵町上下水道課において実施	事後評価の実施時期：事業終了後
	公表の方法：安堵町ホームページにて公表

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考
A07-001	下水道	一般	安堵町	直接	安堵町	管渠（汚水）	新設	第１４処理分区（未普及対策）	φ200mm　L=0.97km φ200mm　L=0.35km	安堵町						122 23.00	
A07-002	下水道	一般	安堵町	直接	安堵町	管渠（汚水）	新設	第２１処理分区（未普及対策）	φ200mm　L=0.19km φ200mm　L=0.19km	安堵町						48 48.00	
小計（下水道事業）																170 71.00	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考
合計																

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考
合計															0 0.00	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・２箇所の処理分区において、面整備を行うことにより下水道処理人口普及率が増加した。
・計画の目標である公共用水域の水質改善並びに、公衆衛生の向上による生活環境の改善がされた。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標				
指標① 下水道処理人口普及率 （下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	最終目標値	95%	目標値と実績値に差が出た要因	おおむね目標通りできた。
	最終実績値	95%		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値			
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値			

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

3．特記事項（今後の方針等）

今後も安堵町公共下水道区域において、面整備を実施していき普及率の向上を図る。

平成30年度以降は「安堵町における快適で活力ある暮らしの実現(第二次)（重点計画）」に移行。